

仙台市議会 議会報告

第3回定例会 せんだい自民党 一般質問



令和4年9月15日(木) (質問と答弁の抜粋)

静岡県牧之原市の認定こども園で発生した園児の通園バス置き去り死事件から、子どもたちの安全確保、防災と防犯の取り組みの重要性について。

子どもたちの安全な学びと 健やかに育つ子育て環境づくり

- Q. 園バス運行への対応、安全対策の取り組み
Q. 危険を想定した子ども関連施設の訓練状況

子ども関連施設と防災意識の高い 市民を結びつける取り組み

東日本大震災の発災以来、郵便局長の皆さんは、地域貢献活動の一環として防災士の資格取得を進め、郵便局と子ども施設を連携させることで、幼い命を守る活動を行っている。郵便局長の皆さんは、地域の地形、住民、また企業や



2022年9月 佐藤美香さん
仙台市私立幼稚園連合会、同PTA連合会による、教育振興大会と研修大会が3年ぶりに対面で開催されました。研修大会の講師は、佐藤愛梨ちゃんのお母様、美香さんをお招きし、大人の立場で日頃からの子どもたちを守る防災の取り組みを学びました。

アインブルプロジェクトとは
東日本大震災時、わずか6歳で犠牲となった「佐藤愛梨ちゃん」。そのお母様(佐藤美香さん)と仲間たちにより、子どもたちの生命、安全の大切さなど、日頃の防災の重要性を伝えるプロジェクト。

店舗の位置、避難経路の安全、地域事情を良く知り、信頼もあり、まさに地域防災の担い手として打ってつけの存在だ。幼稚園や保育所等と、SBL、自主防災組織のリーダー、防災意識の高い市民を結び付ける取り組みも重要だ。その取り組みを伺う。

【郡市長】各施設においては避難訓練を定期的実施し、いつ起こるか分からない災害への備えを日頃から行っております。また、地域の防災訓練に参加することで、町内会や消防団の方々と顔の見える関係を築いている例もございます。今年度は新たに浸水想定区域に含まれることになった、2か所の公立保育所での津波避難訓練の際に、防災士会みやぎのご協力の下、児童に命の大切さを伝える防災教育を実施したところです。

子どもたちが、いざという時にためらわず、確実に避難行動がとれるようになること



2022年6月
多賀城市で行われた防災関連のワークショップ。地域住民、郵便局長をはじめとする大人が子ども達の生命を守るため、真剣にアイデアを出し合う姿に感動を覚えました。



2022年9月
赤いビブスの郵便局長に守られて避難訓練する子ども達

を目指し、今後とも、地域の方々や専門的知見を持つ方々と連携しながら、防災対策の充実に取り組んでまいります。

- Q. 子ども関連施設の防犯対策
Q. 安全確保のための最新技術活用の認識

7月に発生した 安倍元首相の銃撃事件から

本市の安全な社会を目指して 警備業の現状と支援策の必要性

- Q. 市長同行職員の安全対策
Q. 警備についての認識と安全への市民理解
Q. 入札要件について(資格要件・居抜き雇用の実態・保険加入他)

第3回定例会 せんだい自民党

決算等審査特別委員会

令和4年9月26日(月) (質問と答弁の抜粋)

決算等審査特別委員会分科会では、本市の貧困対策と子どもの居場所について質問しました。

- Q. 市民協働事業提案制度の概要と 決算年度の採択事業の内容
Q. 相談事業の評価と課題
Q. 令和4年度の相談件数
Q. 居場所事業の評価と課題
Q. 居場所事業の継続等
Q. 非認知能力を養うこと
Q. 地域での見守り
Q. 児童育成支援拠点事業
Q. 貧困対策としての児童育成支援拠点
Q. 児童育成支援拠点事業のモデル実施検討
Q. 改正児童福祉法と市の体制の強化
Q. 民間団体の育成とスタッフ確保
Q. 今後の取組みについての所見



NPO法人ストーリーアが行っている「子どもの居場所」事業

仙台市議会議員 跡部 薫(あとべ かおる) 仙台市議会 会派「せんだい自民党」会長

- 防災士 ●みやぎ障害者障上競技協会会長 ●仙台市私立幼稚園PTA連合会会長
●北仙台地区連合町内会顧問 ●中山学区連合町内会顧問 ●桜ヶ丘学区連合町内会顧問 ●荒巻地区町内会連合会顧問
●北仙台中学校地区域教育協議会副会長 ●桜丘中学校区青少年健全育成連絡協議会顧問
●双葉ヶ丘地区防犯協会愛働隊員 ●荒巻マニスクール児童館第三者委員

昭和39年仙台市青葉区生まれ 東北学院備ヶ岡高校卒業、東北学院大学法学部卒、東北福祉大学大学院修了

仙台市青葉区双葉ヶ丘1-30-22
atobe-kaoru.com
info@atobe-kaoru.com
TEL.022-728-8588
会派/せんだい自民党(甲)
TEL.022-214-8644

あとべ薫通信

青葉区 仙台市議会議員【4期】

会派:せんだい自民党

市政に緊張感を持って。最新の話題と議会報告をお届けします。

皆様、いかがお過ごしですか。令和4年仙台市第3回定例会を終え、様々な課題の解決に向けて、質疑と議論を行いました。私は一般質問、決算等審査特別委員会分科会質疑、そして全体会質疑と、将来を見据えた財政の市民負担の増大について当局に質しました。

仙台市総合コールセンター
おしえてコール
平日 8:00am~8:00pm
022-398-4894
(土・日・祝日および
12/29~1/3は17時まで)

新型コロナウイルス感染症
受付・相談センター
022-398-9211
(24時間受付・年中無休)

仙台市新型コロナ
ウイルスワクチン接種専用
コールセンター
0120-39-5670
(8時30分~19時 土日・祝日も受付)



1 仙台市議会について

令和4年仙台市議会第3回定例会は9月5日(月)から10月6日(木)まで開会し、2021年(令和3年)度一般会計決算7件を認定、専決処分1件を承認、補正予算案6件、及び条件案件など22件を原案通り可決しました。また10月4日の朝の北朝鮮からの弾道ミサイル発射について、「我が国と近隣諸国の平和と安全を脅かす許しがたい暴挙」として、非難する決議案を全会一致で可決しました。次回の第4回定例会は2022年12月7日(水)から22日(木)までの予定です。

2 質疑について

今議会では3回の質問・質疑に立ちました。一般質問(9月15日(木))では、9月に静岡県牧之原市の認定こども園で発生した園児の通園バス置き去り死事件から、子どもたちの安全確保、防災と防犯の取り組みの重要性について。もう一つはG7の大臣会合、コロナ後のイベント再開から、本市における民間の力を活かした安全確保策について質問しました。続く決算等審査特別委員会分科会(9月26日(月))では、本市の貧困対策と子どもの居場所について。最後は同委員会の全体会質疑(10月3日(月))で決算年度における当局の対応、現状について質しました。詳しくは仙台市議会のホームページからご覧いただくか、2・3・4面の質問・質疑と答弁の概要をご覧ください。

令和3年度 仙台市決算の概要(単位:億円)



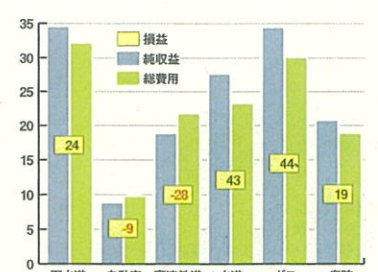
令和3年度
決算を踏まえた
令和4年度以降の
財政見直し

令和4年6月補正予算までに、3月に発生した福島県沖を震源とする地震被害、長期化する感染症、世界的な原油価格や物価高騰等への対応に加え、地産地消の回復を迅速かつ的確に進めるため、必要となる財源を確保してきた。第3回定例会以降においても、国債等を最大限活用しながら、今後の対策に必要な予算を計上する方針。一方で歳出面では、市税収入等の主要一般財源を当初予算案から一定程度持ち直す見込みであり、その結果、決算に向けた収支差は約13億円程度改善する見直しではあるが、感染症の発生前状況までには至っていない。

3 財政の見通しと今後の対応について

新型コロナの対応と、世界的な原油価格や物価高騰の影響により、今後の本市の財政は一層の厳しさが見込まれます。現在本市は、市役所本庁舎の建替え(472億円)に着手し、合わせて音楽ホール・中心部震災復興メモリアル拠点複合施設(237億円)、青葉山公園整備(39億円)、仙台城跡整備(13億円)、八木山動物公園再整備(97億円)、泉区役所建替え(83億円)が進んでいます。中には国からの補助金が見込まれるものの、そのほとんどが本市の一般財源や市債(借金)で賄う予定です。これまで毎年3年程度の財政見直しを出していますが、今回当局は10年先までの見直しを示し、これに対し私は議会において将来に向けた不安や疑問を質疑いたしました。(2・3面に詳細)
さらに当局は、令和5年度から令和7年度までの3年間の収支差(歳入-歳出)は873億円前後(平均291億円)、令和14年までの10年間の収支差(歳入-歳出)が3,628億円前後(平均363億円)となる見通しが示されました。この金額には中央卸売市場の建替え(470億円~600億円)、都心再構築プロジェクトでは、総事業費(200億円程度)、音楽ホールの現状での見積りは含まれておりません。ますます見通しが厳しい中で、一層の財政硬直化が懸念される現状にあります。

令和3年度 企業会計決算の収支状況(単位:億円)



あとべ薫通信

議事報告 仙台市議会 第3回定例会 せんだい自民党 決算等審査特別委員会 全体会質疑

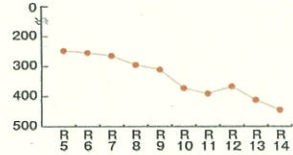


令和4年10月3日(月) 決算等審査特別委員会(質問と答弁の抜粋)

本市の財政について

- Q. 決算年度の財政状況・収支の黒字の実際
Q. 令和5年度の収支差
Q. 今後10年間の収支差

10年間の収支差(歳入-歳出)の推移(単位:億円)



今後10年間で厳しい局面

Q. 本市はこの10年間で、大規模プロジェクトが多数予定されている。今後10年間で最も厳しいと思われる局面はいつ頃になるのか。

A. 【財政課長】現時点でスケジュール等がある程度判明している主な大

規模事業は令和7年度から9年度にかけて本市負担額が大きく増える見込です。

- Q. 大規模事業における本市負担額
Q. 大規模事業の市債発行額
Q. 都心再構築プロジェクトなど
Q. 音楽ホールとの現状と今後の予定
Q. 中央卸売市場再整備
(470億円から600億円)の財源
Q. 市債発行の不安
Q. 起債と経常収支比率の悪化への懸念
Q. 災害や危機、感染症対策等突発的な財政需要への対応
Q. 柔軟性ある市有財産の活用
Q. 「稼ぐ手法」への認識
Q. 4年前の市議会が宮城大学と共催で開催したフォーラムの内容

内部統制評価について

- Q. 懲戒処分との違い
Q. 令和3年度に発生した重大な不備
Q. 返還請求などのトラブル

給付費の支給誤りの概要について

Q. 保育施設等に支払う給付費を平成27年度から7年間で約1億1000万円も過払いする事案がおきた。あらためて説明を求める。

A. 【認定給付課長】平成27年度の「子ども・子育て支援新制度」の開始以降、保育施設等に対する給付費の支給事務におきまして、必要職員数を満

たしていないにもかかわらず加算の適用を行っていたことや、幼稚園教諭の資格がないものを「教育補助者」に算定していたなどの誤りにより、平成27年度から令和3年度までの間、市内の23施設に対して合計1億1千万円余りの給付費の過払いが生じていたものです。

- Q. 保育施設給付に係る不備の重大性
Q. 給付費の支給誤りの原因
Q. 過払い額の返還
Q. 「心とからだの健康調査票」の誤配付

水道事業決算について

- Q. 決算への所見
Q. 老朽化する管路の更新工事
Q. 台原での漏水事故の原因確認と更新作業の進捗状況
Q. 災害時の断水リスク
Q. 塩釜市との浄水場の共同化の協議状況等
Q. 近隣自治体との連携及び非常時のバックアップ体制

ガス事業決算について

- Q. 令和3年度決算の所見
Q. 経年本支管入れ替え工事の進捗状況
Q. 3度目の民営化公募に係る認識
Q. ガス事業の価値
Q. 公募に応じる企業
Q. 検証結果の活用
Q. 応募企業への期待

4病院の再編について

- Q. 懇話会の経費
Q. 県市の歩み寄りを求める件
Q. 市長の認識

近隣自治体との連携等について

- Q. 特別自治市の概要等
Q. 本市の取り組み
Q. 近隣自治体との関係
Q. 宮城県との連携

いじめ対策等について

- Q. いじめ対策に係る自己評価
Q. いじめの発生状況
Q. 不登校対策に係る評価
Q. 不登校の発生状況
Q. 教員不祥事対策の評価
Q. 教員不祥事の令和4年度の発生状況等
Q. 精神疾患による病気休暇・休職者

35人以下学級のアンケート

Q. 35人以下学級を導入した教員へのアンケート結果の概要について

A. 【教職員課長】令和3年8月のアンケートでは、「児童生徒と向き合う時間の確保ができるようになった」「理解度

や興味・関心に応じたきめ細かな指導ができるようになった」「問題行動を把握しやすくなった」などの設問において、多くの教員が肯定的な回答でした。

「生徒指導上の問題が減った」については肯定的な回答が半数程度に留まった一方、「多忙感が残る」といった意見もありました。

適正な予算の執行の認識

Q. 市長公約の一丁目一番地である子ども・子育て・教育の重要課題が市民の評価の上でも結果が出ていない。適正な予算の使い方をしてきたと言えるのか伺う。

A. 【教育長】本市はこれまで、35人以下学級の推進、スクールカウンセラー等の専門家の拡充等による体制の強化など、様々な取組を有機的に組み合わせながら教育環境の充実を図ってきたところであり、一定の成果は出ていると認識しております。

一方で、市民意識調査などにおいていただいた評価につきましては、「より重点的に取り組むべき」とのご意見として、真摯に受け止めており、市民の期待に応えていけるよう、教育施策の更なる充実に努めてまいりますと存じます。

- Q. いじめ、不登校に対する施政方針
Q. 教育課題への効果的な対応、重視すべき点等

市民協働と緑化フェアについて

- Q. 決算年度における市民団体との取り組み
Q. 市民協働に対する当局の認識

市民ボランティアの養成

Q. 緑化フェアを契機とした花緑ボランティアとしての新たな担い手の育成への取り組みについて伺う。

A. 【整備運営担当課長】新たな担い手育成への取り組みは、令和2年度より市民の皆様を対象とした「花と緑のアドバイザー養成講座」を実施し、花やみどりの基礎知識、公共の場でのガーデンづくりなどを学んでおります。受講生には、この知識と経験を活かし、会場の花壇づくりや花柄摘みなどの花緑ボランティアとして活動していただくことはもとより、地域の花壇づくりを通じたコミュニティの形成や花による地域のみどりの創出に貢献していただくものと考えております。



Q. シャトルバスの運行要望

子どもの居場所について

- Q. 本市の取り組み
Q. 子どもの居場所の為の多様なアウトリーチ事業
Q. 改正児童福祉法への本市の対応

質疑と当局側からの回答の抜粋です。詳しくは仙台市議会ホームページなどからご確認ください。

◎仙台市議会ホームページ
https://www.gikai.city.sendai.jp/

活動報告



2022年5月 会派の近隣自治体を訪問して、首長との対話・会談シリーズです。今回は利府町を訪問し、熊谷町長から本市との課題についてヒアリングをしました。



2022年6月 東京都新宿区四谷にある「東京おもちゃ美術館」を視察しました。木製のおもちゃをはじめ多種多様なおもちゃが展示され、実際に遊べる工夫も特長でした。



2022年6月 富岡製糸場を視察しました。世界遺産を活かしたまちづくりをテーマに、市内を巡りました。富岡市は2017年に隈研吾氏設計による新しい庁舎に生まれ変わりました。



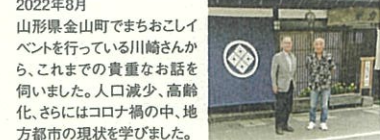
2022年7月 仙台市パークゴルフ協会連合会の恒例行事、交流大会が開催されました。



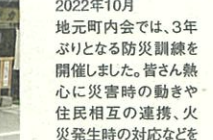
2022年7月 地元町内会の防災協議会研修会の様子です。大雨や地震の際に、避難所を開設して役割を確認する取り組みです。



2022年8月 富谷市の「とみやど」を見学しました。町内外からの人を呼べる施設の開設は地元住民の念願です。



2022年8月 山形県金山町でまちおこしイベントを行っている川崎さんから、これまでの貴重なお話を伺いました。人口減少、高齢化、さらにはコロナ禍の中、地方都市の現状を学びました。



2022年10月 地元町内会では、3年ぶりとなる防災訓練を開催しました。皆さん熱心に災害時の動きや住民相互の連携、火災発生時の対応などを学びました。